

ビワ生育情報

千葉県
平成21年2月号

平成21年1月の気象

平成21年1月の半旬別気象は表1に示した。平均気温は第1～第3半旬を除く全ての半旬で平年を上回り、中でも第6半旬は平年より3.1℃高かった。月平均気温は6.7℃で、平年より0.7℃、前年より1.6℃高かった。

氷点下日数は第1、第2及び第6半旬を除く全ての半旬で見られた。月合計は6日で、平年より4日、前年より8日少なかった。

最低極温は第3及び第4半旬を除く全ての半旬で平年を上回った。1月16日には-2.8℃を記録し、この冬一番の冷え込みであった。

降水量は第5及び第6半旬を除く全ての半旬で平年を下回り、第1及び第3半旬は降雨がなかった。月合計は119mmで、平年の1.3倍、前年の2.7倍であった。

日照時間は第1及び第3半旬を除く全ての半旬で平年を下回った。月合計は121時間で、平年の72%、前年と同じであった。

表1 平成21年1月の気象 (暖地園芸研究所)

半旬	気温(℃)			氷点下日数(日)			最低極温(℃)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	6.0	6.7	4.9	0	1.2	4	0.2	-0.4	-0.9
2	5.9	6.4	8.3	0	1.5	0	0.1	-0.9	1.1
3	4.9	6.0	6.2	4	1.6	0	-1.8	-1.3	1.2
4	7.1	5.8	3.5	1	1.6	4	-2.8	-1.1	-1.5
5	7.1	5.4	3.2	1	1.8	3	-0.6	-2.3	-1.9
6	8.8	5.7	4.5	0	2.2	3	1.5	-2.1	-3.3
平均/計/最低値	6.7	6.0	5.1	6	9.9	14	-2.8	-3.4*	-3.3

※：1月の過去35年間の最低極温の平均

半旬	降水量(mm)			日照時間(時間)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	0	15	0	28	27	26
2	11	21	9	12	27	25
3	0	13	9	28	27	11
4	9	11	3	20	27	18
5	29	15	21	16	27	16
6	71	19	2	17	34	25
合計	119	94	44	121	169	121

樹及び花房の発育

ビワの開花期は表2に示した。暖地園研の開花始期は、「楠」が11月5日、「大房」が11月23日、「田中」が11月6日で、3品種ともに平年より2～8日、前年より2～5日早かった。

開花盛期は「楠」が11月16日、「大房」が12月15日、「田中」が11月27日で、3品種ともに平年より7～14日、前年より7～8日早かった。

開花終期は「楠」が12月12日、「田中」が1月26日であった。「楠」は平年より21日、前年より5日早かったが、「田中」は平年より10日、前年より17日遅かった。「大房」は2月2日現在開花が終了していない。

本年の開花の進みは、いずれの品種も開花盛期まで平年より早かったが、年末から1月中旬までの気温が平年より低かったため、開花終期は「楠」を除き、平年より遅れている。また2月まで厳しい寒波もなく、寒害の発生はほとんどみられない。

表2 ビワの開花期（暖地園芸研究所）

品 種	開花始期(月.日)			開 花 盛 期			開 花 終 期		
	本 年	平 年	前 年	本 年	平 年	前 年	本 年	平 年	前 年
楠	11. 5	11.10	11. 7	11.16	11.30	11.24	12.12	1. 2	12.17
大 房	11.23	11.25	11.25	12.15	12.22	12.23	—	1.30	2.12
田 中	11. 6	11.14	11.11	11.27	12. 9	12. 4	1.26	1.16	1. 9

平年：1982年～2007年の26年間の平均

3月の作業

ビワは厳寒期を過ぎて春めいてくると、枝葉の伸長が始まり、果実の肥大が急速に進む。しかし、春先は夜間冷え込むことがあり、3月中旬までは寒波の襲来に注意が必要である。接木は3月になると台木の芽が動き始めるので、3月中に行う。また、摘果や袋掛けは寒波の襲来がなくなった頃から始める。

摘果・袋掛け

3月以降の寒波の襲来がなくなる頃を見計らって、寒害の受けにくい園から摘果・袋掛けの作業を始める。

標準的な着果程度は1果当たり20枚の葉が必要である。1果房に残す果数は、1～3果で、着果房数が多い樹では1果房に1果残すが、少ない樹では多めに着果させる。本年の花付きは良好で着果房数が多いので、1果房に1～2果残す。3果以上着果させると果実が小さくなる。

接 木

接木の適期は、台木とする実生苗の芽が動き始める3月上旬～中旬である。接木及び接木苗の植え付けは、できるだけ天気安定した時期を選んで行う。気温が低かったり雨天の日に作業すると、接木した苗の活着率が低下する。また、4月に入ると台木の樹液の溢出が多くなり接ぎ難くなるので、接木は3月中に終わらせる。

【生育情報の問合せ先：千葉県農業総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/>